

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	16H06369	研究期間	平成28(2016)年度 ～令和2(2020)年度
研究課題名	抗原分子の油状ナノ分散化技術を利用した低侵襲性経皮ワクチンの創製	研究代表者 (所属・職)  (平成31年3月現在)	後藤 雅宏  (九州大学・大学院工学研究院・教授)

【令和元(2019)年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、生体分子を油中にナノ分散させる S/O 技術を用いて、抗原タンパク質を経皮的に投与するというアイデアに基づき、高効率な免疫療法システムを確立し、癌免疫療法や花粉症治療への道を開拓することを目的としている。</p> <p>これまでに、抗原分子を化学的・遺伝子工学的に修飾することや、付帯分子の工夫などにより S/O 製剤を最適化し、経皮浸透の促進や免疫細胞への効率的デリバリー手法を開拓している。また、臨床応用開拓では、一部の悪性腫瘍の抑制効果や花粉アレルギー減感作効果を確認し、現在、臨床応用の早期実現に向けて研究を進めている。</p> <p>今後は、本手法をより汎用性、普及性の高い新しい免疫療法として確立させることを期待する。</p>		